

# 藍の力に魅せられ

きょう「とくしま藍の日」

6月下旬、山あいの畑一面が緑の葉に覆われ一番刈りの時季を迎えた。染色工房「ハイカラーハンドワークス」（海陽町小川）代表の庄司拓也さん(50)と妻の愛鐘さん(46)が肥料や無農薬にこだわり丁寧に育てた約25畝の藍畑。会心の出来に笑顔があふれる。  
(8面に続く)

7月24日を「とくしま藍の日」と定めた県条例が施行されて丸6年。藍染にほれ込んだ移住者は海陽町で藍の未来を切り開き、北海道や三重県に移住した県人はさらなる藍の可能性を求めて奮闘している。それぞれの挑戦を紹介する。

丹精込めて育てた藍の出来栄に笑みがこぼれる庄司拓也さん(左)と妻の愛鐘さん＝海陽町熟田(撮影・吉本旭)

【取材】山口和也、吉本旭 【紙面編集】尾形つぐみ